

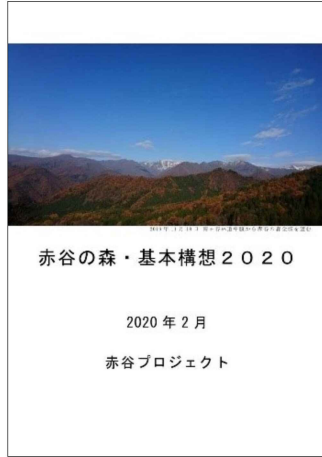


【近況トピックス】

1 「赤谷の森・基本構想2020」

の策定

三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画（赤谷プロジェクト）のマスタープランである「赤谷の森・基本構想2020」が2020年2月17日の赤谷プロジェクト企画運営会議にて決定されました。



赤谷の森・基本構想2020

赤谷プロジェクトは、群馬県北西部に位置する国有林「赤谷の森」100,000haを舞台として、赤谷プロジェクト地域協議会、(公財)日本自然保護協会、関東森林管理局の3者が協働し、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」に実践的に取り組んできました。今後もさらに人と自然との新たな関係づくりの取組の波及を目指し、2015年以降に得られた知見と

関係者の意見を踏まえ、現行の基本構想を改定し、今後5年間のマスタープランである「赤谷の森・基本構想2020」を策定したものです。

詳しくはホームページに載っておりますのでアクセスしてください。

※[https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya\\_fc/\\_/akayanomori-kihonkousou2020.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/_/akayanomori-kihonkousou2020.html)

2 令和元年度 森林・林業等技術交流発表会

令和2年2月13～14日に行われた森林・林業等技術交流発表会で赤谷センターから発表した「成熟した人工林の伐採によるイヌワシの狩り場の創出実験」で優秀賞を頂きました。(発表者：松井琢郎、共同発表者：出島誠一)。これも長きにわたる関係者の努力と感謝いたします。

今後、新たな狩り場の創出など更なる知見を得るために努力していきます。



発表会の様子

3 赤谷の森自然散策(冬)

令和2年2月8日に赤谷の森自然散策(冬)を行いました。毎年季節毎に4回、みなかみ町との共催で実施しているイベントの「冬」版です。豪雪地域のみなかみ町にはスキー場が9つあり、毎年雪には事欠かないはずなのですが、今年は全国的に雪不足だと各地で報道されているように赤谷の森もご多分に漏れず雪がない。そうしたところ、開催の4日前になってようやくまとまった積雪があり、参加者(23名)が楽しみにしているスノーシューの散策がななんとかできました。

場所は赤谷プロジェクトの活動拠点として使われているいきもの村。雪原をサクサクと歩いてみると、ウサギやカモシカの足跡、葉が落ちたでできる葉痕が羊顔のオニグルミとか、クマが木の実に実や若葉を食べるのに樹上の枝を折っ



コースにある雪の滑り台



雪原の広場で記念撮影

てできるクマ棚、つぶらな瞳をしたアナグマの巣穴など、民家近くにあるこの場所の環境でもたくさんの生き物が身近に感じられて、青空のもと2時間程度の散策を楽しんでいただきました。午後の部は会場を、「民話と紙芝居の家」に移動して、三国街道の宿場町として栄えた猿ヶ京の民話を久留島武彦文学賞受賞者で館長の持谷靖子さんと、ここで民話を習っている子ども達「こでまり」のメンバーが歴史情緒たつぷりに時にユーモアを交えて語ってくれました。紙芝居は地元沼田放送局FMOZにレギュラー出演している宮崎りえ子さんが、日本における自然保護運動幕開けの物語「いわつばめとおぜのおじさん」を披露しました。今年のは例年にならぬ暖冬でし



民話を語る館長の持谷靖子さん

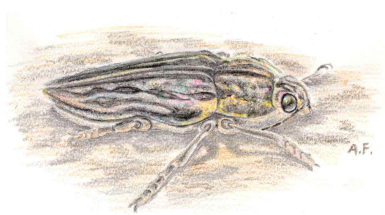


宮崎りえ子さんが演ずる「いわつばめとおぜのおじさん」

たが、それでも運良く直前に降雪があり雪景色の中で開催することが出来ました。スノーシューが初体験で楽しみにしていた参加者が多かったので、主催者側としてほっと胸を撫で下ろしています。

これからも赤谷の森でそれぞれの四季の情景を楽しんでいただければ、職員一同皆様をお待ちしております。

最後に新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るっております。春の甲子園大会ほか色々な競技・イベントが中止になるなど想像以上に影響がでております。赤谷センターでも3月、4月の赤谷の日を中止にしました。今後のイベントも検討が必要だと考えています。今個人で実践できる、マスク、手洗い、うがいなどを心がけ、健康には十分に注意して行動していきたいと思えます。



ウバタマムシ(姥玉虫)  
約3.5cm. 玉虫色ではない、洗いた目の玉虫。  
驚くとすぐ死んだつりをするので捕まえず。

2020年度赤谷の森自然散策 開催予定のお知らせ(案) AKAYA 群馬県自然環境部 林野課

開催日	コース	内容	イベントの様子
2020.5.16 (土)	旧三国街道 新湯側 群馬側三坂線	春の香りを堪能しながら、コシロウやシバフツクなど春の訪れを感じる自然観察を行います。新湯の湯中、湯ヶ原温泉に近く、広がる自然や緑の森を楽しめます。	
2020.8.2 (日)	ムタコ沢林道 赤沢スキー場	涼しいムタコ沢の清流や、コシロウやシバフツクなど夏の花を堪能しながら、新湯の湯中、湯ヶ原温泉に近く、広がる自然や緑の森を楽しめます。	
2020.10.24 (土)	旧三国街道 群馬側三坂線 新湯側	鮮やかに染まるムタコ沢の紅葉を堪能しながら、新湯の湯中、湯ヶ原温泉に近く、広がる自然や緑の森を楽しめます。	
2021.2.11 (木・祝日)	いきもの村 (民話体験)	スノーシューを履いて、雪の上で動物の足跡やツルムなどでの自然を楽しみます。雪の上、「民話体験の家」にて、民話の読み聞かせや民話の紙芝居を見学します。	

※開催日・コースは変更の可能性があります。詳しくは「赤谷の森」のホームページをご覧ください。

「赤谷の森」自然散策 開催予定のお知らせ (春夏秋冬の年4回開催)

みなかみ町と赤谷森林ふれあい推進センターは、「みなかみユネスコエコパーク」でもある「赤谷の森」の自然や環境のことを学べる機会として、赤谷の森自然散策を開催します。

2020年度は、春夏秋冬の年4回「赤谷の森自然散策」を開催します。各自然散策イベントの開催案内は、決まりしだい「イベント情報」でお知らせ致します。参加申込につきましては、各回の開催案内によりお申込してください。(開催案内前の予約受付できませんこと申し添えます。) たくさんの方のご参加をお待ちしております。

「赤谷の森」の紹介

「赤谷の森」は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる、約1万ヘクタール(10km四方)の国有林です。森の入口から主稜線までの標高差はおよそ1,400mあり、周囲を囲む岩峰と奥山に広がるブナ、ミズナラ、トチノキ等の自然林、標高の低い地域にはスギなどの人工林や、かつて薪炭林だったコナラ林が広がります。自然環境が変化に富み、生態系も豊かです。希少種であるイヌワシ、クマタカ、ツキノワグマなどの生息地にもなっています。また、利根川の上流域にある赤谷の森は、地域の重要な水源の森であると同時に、首都圏の水源にもなっています。

歴史ある温泉場が点在し、エリア中央部にはかつて交通の要路であった旧三国道があるなど、古くから人びとと深く関わってきた森林です。また、「赤谷の森」は、平成29年6月14日に登録された「みなかみユネスコエコパーク(MINAKAMI Biosphere Reserve)」の緩衝地域になっています。「みなかみBR」って呼んでくださいいね!!

2020年度の日程

第1回 赤谷の森自然散策(春)  
2020年5月16日(土曜日)  
予定コース「旧三国街道 新湯側入口」群馬側三坂線入口

第2回 赤谷の森自然散策(夏)  
2020年8月2日(日曜日)  
予定コース「ムタコ沢(溪流沿いの林道)」

※中学生以下(小学生以下は保護者同伴)  
↓「赤沢スキー場ロッジ」

第3回 赤谷の森自然散策(秋)  
2020年10月24日(土曜日)  
予定コース「旧三国街道 群馬側三坂線入口」新湯側入口

第4回 赤谷の森自然散策(冬)  
2021年2月11日(木曜日・祝日)  
予定コース「いきもの村周辺(スノーシュー体験)」

↓「民話と紙芝居の家(民話、紙芝居)」